

福 建 協 技 第 7 6 号
令和元年 9 月 20 日

各 支 部 長 様

一般社団法人福島県建設業協会
会 長 長 谷 川 浩 一
(公 印 省 略)

**「設計変更協議で利益と工事成績を上げた事例解説」講習会の開催について
(CPDS対象)**

時下 益々ご清栄のことと存じ上げます。

さて、公共工事品質確保法運用指針の改定から 4 年が経過し、設計変更に関する基本的な考え方が明確化されつつあります。

今回のセミナーでは、公開されている事例を基に、発注者側の設計変更可否・判断基準等、設計変更の基本的な考え方を復習し、設計変更協議により収益確保と高成績獲得を同時に実現した事例や、高収益獲得企業の実例を新たに取り上げ、協議資料の作成・提案方法について、福島県土木施工管理技士会と福島県公共工事品質確保・安全施工協議会との共催で別紙により開催します。

つきましては、貴職より支部傘下の会員企業にご周知くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

(担当：技術課 所、堀越)

「設計変更協議で利益と工事成績を上げた事例解説」講習会開催内容

1、日 時：令和元年 10 月 29 日（火） 13：30～16：30

2、場 所：「ビッグパレットふくしま」3F 小会議室2・3
郡山市南2丁目52 Tel024-947-8010

3、定 員：80名（定員を超える申込があった場合には調整をいたします。）

4、受 講 料：無料

5、内 容：

①建設業を取り巻く情勢変化

災害発生頻度の増加や技術者の不足等の問題から、国が進める ICT 土工等での生産性向上や、処遇改善に対する取り組み等から、設計変更の重要性について確認します。

②設計変更の基本

発注者が公開している設計変更が可能な事例、不可能な事例を取り上げ、発注者側の設計変更可否・判断基準等を確認します。

③設計変更協議事例解説

設計変更協議により、高収益と工事成績高得点獲得を同時に実現した事例を紹介します。

- ・橋台工 コンクリート配合変更事例
- ・砂防堰堤工の事例
- ・道路改良工事の事例

6、講 師：ワイズ公共データシステム株式会社
中沢 実（なかざわ みのる） 氏

7、共 催：（一社）福島県建設業協会、福島県土木施工管理技士会、
福島県公共工事品質確保・安全施工協議会

8、申込方法：○別紙「申込書」に必要事項を記入の上、エクセルシートを直接技術課あてにメールで提出をお願いします。

mail (gijutsuka@e-fukuken.or.jp)

○受付終了は、10月24日（木）午後5時。

○受講票の発行はいたしません。申込確認が必要な場合は電話で事務局技術課に確認をお願いします。（Tel 024-521-0244）

9、CPDS：本講習は、CPDSにおいて3単位を付与いたします。CPDSが必要な方は、受付時に本人確認を行い、講習終了後に受講証明書を発行いたしますので、運転免許証、監理技術者証等、本人確認ができるものを持参願います。（名刺不可。本人確認ができない場合、受講証明書の発行ができない場合がありますので、ご注意下さい。）

※ 注意

■ 申込書は、必ずエクセルシートに記入したものを、そのままメールに添付してください。

手書き入力、または、PDFのものは無効とさせていただきます。

定員を超える申込があった場合には、調整をさせていただきます。